

## 議会広報

# いえどん



▲おやじの体力テスト

- ◆平成27年度予算……………P2
- ◆予算委員会質疑……………P4
- ◆賛成討論及び反対討論……………P5
- ◆一般質問7議員登壇……………P6
- ◆議決の結果……………P13
- ◆意見書……………P14
- ◆議会の活動……………P17
- ◆題字提供・その他……………P18

# いえどん

第149号  
平成27年6月10日

## わったどう はちゃとどー



今回は、知念梅子さん、内間ウシヤさん、東江ウシさんの三人に協力して頂き題字を完成させました。

### 題字執筆者紹介



▲題字を書いていただいた内間 ウシヤさん

内間 ウシヤさん  
(大正5年生まれ 99歳  
東江前区)

満99歳の今でもご自分  
の足で歩行されてい  
らっしゃいます。頑張り  
屋のウシヤさんです。

い  
え  
ど  
ん

### 題字執筆者紹介



▲題字を書いていただいた知念 梅子さん

うめこ  
知念 梅子さん  
(大正5年生まれ 99歳  
東江前区)

どんな曲でも合わせ  
て踊ることができます。  
踊りの名手 梅子さんで  
す。

い  
え  
ど  
ん

### 題字執筆者紹介



▲題字を書いていただいた東江 ウシさん

東江 ウシさん  
(大正5年生まれ 99歳  
東江上区)

いつもニコニコ。人が  
大好き。お話が大好きな  
愛嬌満点なウシさんで  
す。

い  
え  
ど  
ん

## 議会事務局職員の異動

H23度より、4年間事務局職員として頑張っていた  
いたい山城佐百合さんが、教育委員会へ異動。  
臨時職員の下門利美さんが平成27年度採用となり  
総務課へ。個性豊かな議員方々を相手にご苦労様  
でした。新任部署での活躍期待しています。



### 編集後記

議会で行われている聞きたい事や、知りたい事を、皆さんに興味を持って読んで  
いただけるような広報誌を目指し今後とも、広報委員会一同務めていきたいと思  
います。

伊江村議会事務局職員 知念一史

## 平成27年第2回 3月定例会

# 一般会計は69億9,600万円 前年度比1,742,000千万円の増額予算

平成27年度各会計の当初予算案は、全議員で構成する予算審査特別委員会に付託され、執行部に関係資料の提出や説明を求め、集中的に審査を行いました。その結果、付託された6議案はすべて原案のとおり可決すべきものと決定されました。

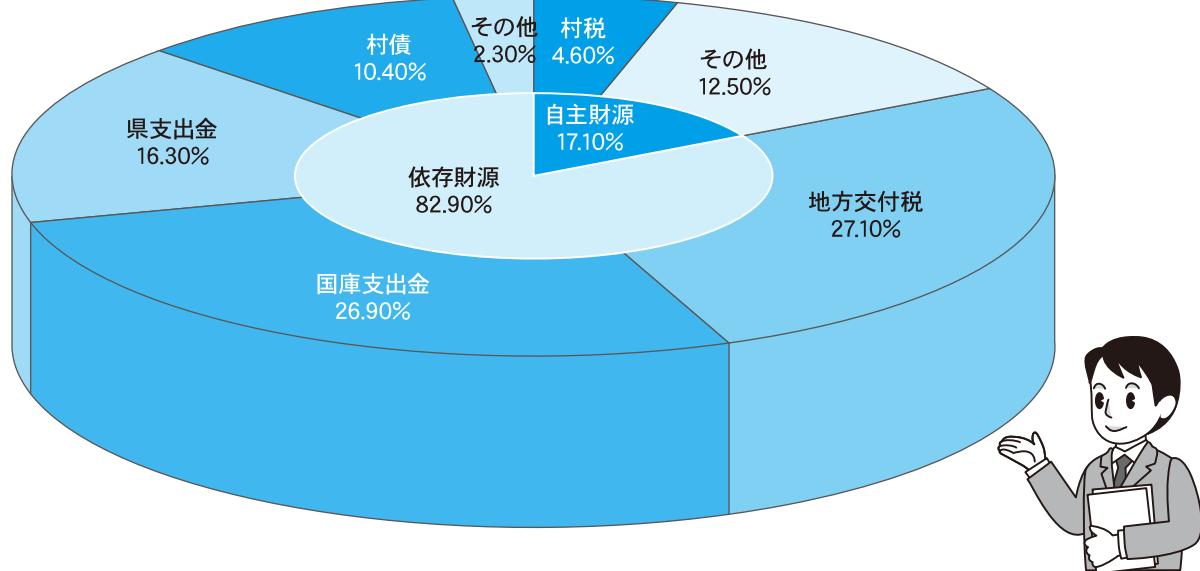
一般会計歳出内訳(単位/千円)

議会費	77,635
総務費	2,773,099
民生費	932,184
衛生費	240,451
労働費	1
農林水産業費	661,355
商工費	156,346
土木費	219,507
消防費	29,623
教育費	1,473,309
災害復旧費	3,502
公債費	365,015
諸支出金	13,973
予備費	50,000
合計	6,996,000

一般会計歳入内訳(単位/千円)

財源	歳入額	歳入合計
村税	319,633	
分担金及び負担金	21,957	
使用料及び手数料	92,603	
財産収入	112,644	
寄付金	901	
縁入れ金	586,356	
縁越金	1	
諸収入	62,546	
自主財源合計	1,196,641	
地方交付税	1,896,312	
国庫支出金	1,881,366	
県支出金	1,137,272	
村債	726,000	
地方譲与税	38,604	
利子割交付金	544	
県民税配当割市町村交付金	181	
県民税株式等譲渡所得割交付金	287	
地方消費税交付金	38,018	
ゴルフ場利用税交付金	1,992	
自動車取得税交付金	3,477	
国有提供施設等所在市町村交付金	73,315	
地方特例交付金	391	
交通安全対策特別交付金	1,600	
依存財源合計	5,799,359	
歳入合計	6,996,000	

## 歳入予算額の状況



# 平成27年度予算総額 93億9904万1千円(6会計)を可決

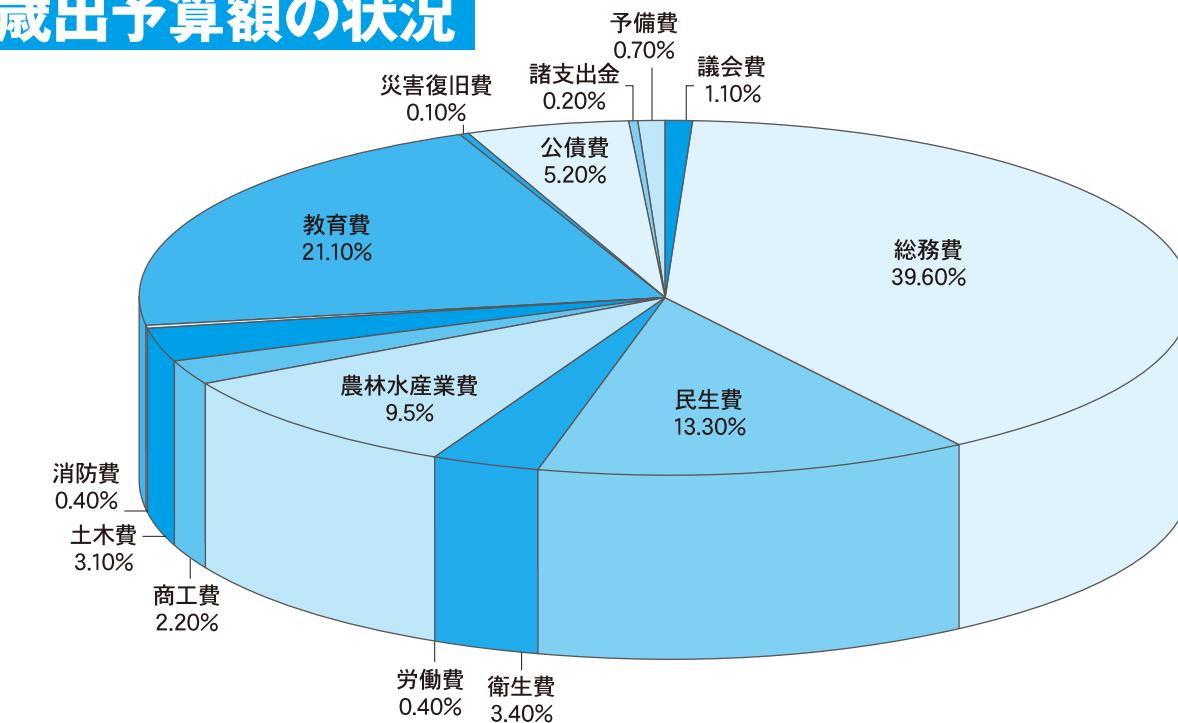
平成27年第2回(3月)定例会を、3月10日から20日までの11日間の会期で開きました。本定例会では、平成27度一般会計及び特別会計当初予算をはじめ、平成26年度補正予算など36件の議案を審議し、すべて原案のとおり可決しました。(審議結果の概要は13ページをご覧ください。)また、開会初日には村長の施政方針が表明されたほか、一般質問が行われ、7人の議員が村の対応や考え方を問い合わせました。

## 平成27年度 会計別当初予算

会計名	予算額(千円)	前年度比増減額(千円)
一般会計	6,996,000	1,742,000
診療所特別会計	290,000	26,000
国民健康保険特別会計	1,140,555	127,724
後期高齢者医療特別会計	66,182	535
水道事業会計	222,146	34,370
船舶運航事業会計	684,158	-120,520
合計	9,399,041	1,810,109



## 歳出予算額の状況



## 反討討論

一般会計予算案

10番 名嘉 實議員

本予算案は69億9,600万円、前年度比17億4,200万円、33.16%の増となっておりますが、その内訳は総務費で18億5,066万円の増、これは多目的屋内運動場の建設費15億3,292万円、レク広場経営危機対策のための運営補助金700万円、特定防衛施設周辺整備調整交付金基金8,806万円余りの増、特別事業対策費の3億2,127万円の増、企画費ではマイナス5,000万円などとなっております。民生費では福祉センターへの太陽光発電施設の設置や保育士の賃上げ等で7,988万円の増となっておりますが、臨時保育士の待遇改善については、出費の多い盆、正月のための一時金や退職金の支給、やむを得ず欠勤する場合の有給休暇制度の創設などは、村長が施政方針で述べている「職員のやる気を高め、もてる能力や可能性を引き出し、いきいきと働ける明るく楽しい職場環境づくりに努めること」になくてはならない課題だと考えます。

衛生費では1,817万円の増、労働費では失業対策費1,950万円全額がカットされました。農林水産業費では堆肥センターの完成による減。農地費4億4,813万円の減。複合作物振興費7,898万円減などにより、5億2,260万円の減となっております。土木費では1億4,453万円

## 船舶運航事業会計予算案

10番 名嘉 實議員

本预算案にも例年同様、米軍車両及び米兵の航送計画が組み込まれております。私は船舶運航事業で米軍車両及び米兵の航送をしないよう、求め反対し続けてきましたが、本预算案についても、同様の理由で反対します。米軍は、オスプレイやハリアーの訓練をはじめ、傍若無人なやりたい放題の訓練をしておりますが、今年はF35Bライ

## 贊成討論

一般会計予算案

7番 内田 竹保 議員

安倍内閣の成長戦略、いわゆるアベノミクスについての地方創生は、離島である本村にはまだ目に見えて景気がよくなっているとは感じない現状にあります。しかしながら、本議会の平成26年度一般会計補正予算(第8号)で、地方創生先行型、地域消費喚起、生活支援型に地方創生戦略交付金として4,395万7,000円が計上されました。これを起爆剤として、今後の経済成長に期待するものであります。

県内においては、戦後70年目の節目を迎ますが、いまなお米軍基地は存在しております。昨年の新知事誕生以来、普天間基地移設問題はますます混迷しており、県民を二分化する傾向にあり、国において早期に解決を望むものです。

島袋秀幸村長就任以来、4月で満2年を迎えようとしております。

## 船舶運航事業会計予算案

5番 内間 広樹 議員

昭和48年に県内初の離島航路フェリーいえしまが就航し、2年後の昭和50年にフェリーぐすぐが就航、県内離島で例のないフェリー2船運航体制で今日まで40年間、村民生活を支え、また村経済振興に寄与してきました。平成24年3月にはバリアフリー化した新造船フェリーいえしまが就航し、快適な船旅を提供していますが、建造よ

の減ですが、本予算案にも住宅リフォーム事業が計上されました。村民から需要がある間は、継続を望むものであります。教育費では伊江小学校、幼稚園の改築費などで、4億3,250万円の増となってます。本予算案にも多くの議員の一般質問で、取り上げられた住民の要請が反映されていることについては、評価するものでありますが、例年同様、自衛官募集業務委託金も、歳入で計上されています。

両用作戦用多機能艦船艦艇に関する調査費500万円が計上されています。その他にも、ミサイル03式中距離対空ミサイル一個中継164億円、基地防衛用対地空ミサイル一式56億円などが計上されています。これは外国で戦争するための装備の強化です。

我々沖縄は、去った戦争と引き続き行われている米軍支配によって、日常的に被害を受けています。政府の戦争政策には常に警戒心を持って、施政に取り組むべきだと考えます。自衛官募集業務委託費を、本予算案から返上することを求め、反対討論とします。

---

www.nature.com/scientificreports/

トニングⅡの訓練場建設も計画されており、この計画に反対していく上でも米軍の航送はすべきではありません。船舶運航収益計画では、収入の部旅客で2億8,262万5,000円、車両で2億7,900万円、合計で5億6,162万5,000円となっておりますが、米軍の航送料は平成25年度実績で613万3,000円であり、運輸収益に占める比率は1.08%にすぎず、米軍関係の収入がなくなってしまっても、船舶会計に重大な支障を来すことはありません。船舶運航事業会計から米軍関係の航送計画を除くことを求め、反対討論とします。

戦後70周年記念事業の議案説明においてバスを借りて渡嘉敷、座間味とあるが泊港から行くのか伺いたい。

答 か伺いたい。  
気象観測機設置事業では、3基導入し島の東地区、中地区、西地区と3地点での設置を計画していますが、具体的な設置場所については今後検討していきます。また、温度、雨量、風向、風力の計測ができます。

問	答
後とも進路状況については調査したい。	フェリー内でのテレビの通信不良について、この辺を通る他船も、そうなのか電波調査及び解決法について伺いたい。

A tall, slender metal pole stands against a clear sky. At the top, there are four large, white, conical speakers arranged in a cluster. Below them, a smaller speaker is mounted on the left side. A lightning rod extends from the top of the pole. The pole is surrounded by several thin wires, likely power or signal lines.

# 予算審査特別委員会質疑

無線放送施設保守管理委託料について、サイレン等は実際使用しないのでしょうか。火災や緊急等で消防団に周知する場合に使用するんであれば補修管理はやっておく必要があると思いますが、その辺はどうか。

**答** ミバ工地上防除事業、病害虫防除  
村負担金の内容について詳しく伺  
いたい。

**問** として取組んでいく中で、いろいろな意見を聞きながら、村民、高齢者、御遺族の方々も含めフエリーで行けるよう検討していきたい。

問 4月に入ると大きなイベントも控えていますが、フェリー内の観光ビデオ放映の時期についてお伺いしたい。

さたい。頼を行つたり、アンテナを那覇や今帰仁局あたりに向けても難しい状況にあります。今後もいろいろ調査しながら前向きに改善してい

**問** 循環型社会の形成を目指して「特定家庭機器再商品化法」(家電リサイクル法)が平成13年4月に施行された。以前は、家庭から排出される家電は、基本的に市町村が回収や埋め立て処理を行っていたが、膨大な量の廃棄物が排出され、最終処分場のひつ迫や不正処理などが懸念されてきた。そうした中家電リサイクル法の施行により、その処理と役割が大きく変わり、排出者(消費者)負担、製造業者(家電メーカー)にリサイクルを義務づけており、現

**答** 家電リサイクル法は廃棄物の減量、資源の有効活用の観点から、廃棄物のリサイクルを推進の新たな仕組みを構築するためには、制定された制度です。

**村長／関係機関と調整を行い支援方法を含めた検討をしたい**

## 1. 大型廃家電(テレビ、冷蔵庫、洗濯機、クーラー等)のリサイクル処理について



内間 広樹 議員

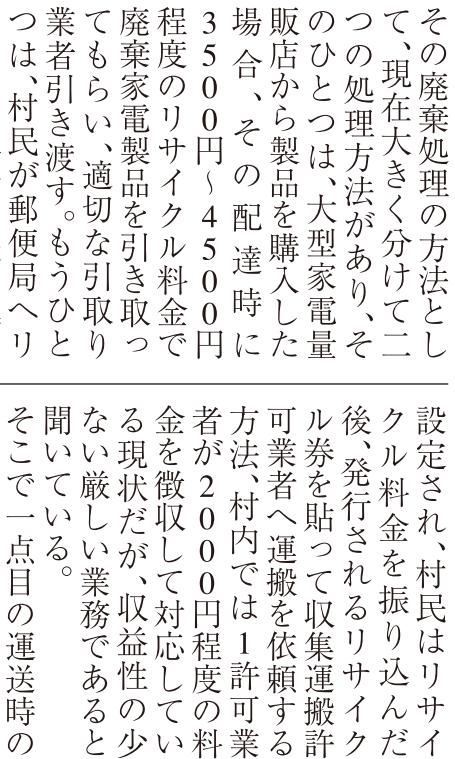
循環型社会の形成を目指して「特定家庭機器再商品化法」(家電リサイクル法)が平成13年4月に施行された。以前は、家庭から排出される家電は、基本的に市町村が回収や埋め立て処理を行っていたが、膨大な量の廃棄物が排出され、最終処分場のひつ迫や不正処理などが懸念されてきた。そうした中家電リサイクル法の施行により、その処理と役割が大きく変わり、排出者(消費者)負担、製造業者(家電メーカー)にリサイクルを義務づけており、現

**問** 在、村内の廃棄物収集運搬業認可業者がその処理業務を担っているが、収益性のない業務の現状となつてきているため、次の点についてお伺いします。  
① 村外の指定取引所への運送時の費用負担の支援はできないか。  
② 村の廃家電廃棄物収集運搬として指定し委託にできないか。

**答** 国営かんがい排水事業に伴う分遣隊に伴う、米海兵隊作戦支援分遣隊(OSD)施設の移設の移設工事が着々と進む中、移設後、現在の施設跡地利用の計画はあるのか、お伺いします。

**村長／跡地利用計画は、困難な状況と考える**

## 2. 米海兵隊伊江島分遣隊施設移設後の跡地利用について



内間 広樹 議員

在、村内の廃棄物収集運搬業認可業者がその処理業務を担っているが、収益性のない業務の現状となつてきているため、次の点についてお伺いします。  
① 村外の指定取引所への運送時の費用負担の支援はできないか。  
② 村の廃家電廃棄物収集運搬として指定し委託にできないか。

**問** 25年9月に伊江地下ダム補償施設建設工事として着工してきた。当該工事は平成27年3月中旬に完了し、3月中旬に米軍や沖縄総合事務局の検査を受けた後、米軍へ引き渡す予定となつており、米軍へ引き渡した後平成27年6月頃までに米軍は動産移転を行い、その後平成27年7月頃から現分遣隊施設の撤去工事に着手する。撤去工事の概要としては、現分遣隊東側にある

施設移設工事について、施設移設工事に伴う、米海兵隊作戦支援分遣隊(OSD)施設の移設の移設工事が着々と進む中、移設後、現在の施設跡地利用の計画はあるのか、お伺いします。

す。

## 村政のここを問う! 3月定例会 一般質問

**問** 毎年4月21日には、関係者によつて、慰靈が行われていることは、皆さん御承知のとおりだと思います。

村長の施政方針にもあります。が、戦後70年の節目であり、時宜を得た提言であります。殉職者慰靈碑は、神聖な場所であるべきものであり、隔離同様の状況では、御靈の供養にはなりません。隨時構内出入りできることによつて、村民又来村される多くの人々が鎮魂の念で花などを手向け、御靈を供養することとなり、伊江島への思いがより深まり、伊江島観光の要所にもなると確信する。

**答** そこで、「伊江島灯台・慰靈碑構内へ随時出入り可能な方策について」を伺いたい。

現在の灯台は昭和29年米軍によって再建されたものを、昭和47年の復帰時に第十一管区海上保安本部に引き継がれ、維持管理しております。日米合同委員会で灯台の運営に関連する検査、保守、修理等の作業に立入ります。日米合同委員会にてお伺いします。

**問** 昭和56年当時の新聞で沖縄の太陽として、大きく取り上げられた旧姓黒田操子さんの来島記念として、真謝区有志によつて標記念標識を改めて建立する考えはないかを伺いたい。

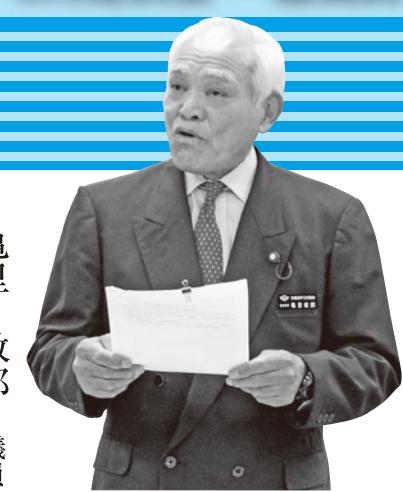
4月の爆撃により当時灯台立入りが保障されておりましたが、米軍施設内のため、村民、観光客の立入りは制限されています。また、慰靈碑は、昭和20年4月の爆撃により当地に

**村長／村民の立ち入りが図られるよう取組んでいきます**

毎年4月21日には、関係者によつて、慰靈が行われていることは、皆さん御承知のとおりだと思います。

靈が行われていることは、皆さん御承知のとおりだと思います。

## 村政のここを問う! 3月定例会 一般質問



亀里 敏郎 議員

これまで、伊江島灯台への立入り要請につきましては、平成21年6月に前大城村長が第十一管区海上保安本部長に要請をいたしましたが、海上保安庁と沖縄防衛局において協議されました。塔平和祈願祭の後に慰靈祭を開催しているところであります。

これまで、伊江島灯台への立入り要請につきましては、平成21年6月に前大城村長が第十一管区海上保安本部長に要請をいたしましたが、海上保安庁と沖縄防衛局において協議されました。塔平和祈願祭の後に慰靈祭を開催しているところであります。

これまで、伊江島灯台への立入り要請につきましては、平成21年6月に前大城村長が第十一管区海上保安本部長に要請をいたしましたが、海上保安庁と沖縄防衛局において協議されました。塔平和祈願祭の後に慰靈祭を開催しているところであります。

す。

**2. 旧姓黒田操子さんの来島記念として、標された城山頂にある標識を改めての建立について**

昭和56年当時の新聞で沖縄の太陽として、大きく取り上げられた旧姓黒田操子さんの来島記念として、真謝区有志によつて標記念標識を改めて建立する考えはないかを伺いたい。

4月の爆撃により当時灯台立入りが保障されておりましたが、米軍施設内のため、村民、観光客の立入りは制限されています。また、慰靈碑は、昭和20年4月の爆撃により当地に

**問** 年米軍によって再建されたものを、昭和47年の復帰時に第十一管区海上保安本部に引き継がれ、維持管理しております。日米合同委員会で灯台の運営に関連する検査、保守、修理等の作業に立入ります。日米合同委員会にてお伺いします。

**答** 現在の灯台は昭和29年米軍によって再建されたものを、昭和47年の復帰時に第十一管区海上保安本部に引き継がれ、維持管理しております。日米合同委員会で灯台の運営に関連する検査、保守、修理等の作業に立入ります。日米合同委員会にてお伺いします。

**問** 昭和56年当時の新聞で沖縄の太陽として、大きく取り上げられた旧姓黒田操子さんの来島記念として、真謝区有志によつて標記念標識を改めて建立する考えはないかを伺いたい。

昭和56年1月に伊江島を訪れた際には、真謝区民に大歓迎されました。来島を記念して真謝区有志の方々が中心となつて、城山頂上に「沖縄の太陽」黒田操子来島記念」と標されています。それでは、御質問の旧姓黒田操子さん、来島記念標識を改めて建立する考えはないかについてお答えいたしました。

伊江島をはじめ沖縄を激励した、純真で愛に満ち溢れた貴い行為に、当時の沖縄の人々は「沖縄の太陽」と称賛しました。

1956年1月に伊江島を訪れた際には、真謝区民に大歓迎されました。来島を記念して真謝区有志の方々が中心となつて、城山頂上に「沖縄の太陽」黒田操子来島記念」と標されています。それでは、御質問の旧姓黒田操子さん、来島記念標識を改めて建立する考えはないかについてお答えいたしました。

す。

**答** 伊江島をはじめ沖縄を激励した、純真で愛に満ち溢れた貴い行為に、当時の沖縄の人々は「沖縄の太陽」と称賛しました。

1956年1月に伊江島を訪れた際には、真謝区民に大歓迎されました。来島を記念して真謝区有志の方々が中心となつて、城山頂上に「沖縄の太陽」黒田操子来島記念」と標されています。それでは、御質問の旧姓黒田操子さん、来島記念標識を改めて建立する考えはないかについてお答えいたしました。

伊江島をはじめ沖縄を激励した、純真で愛に満ち溢れた貴い行為に、当時の沖縄の人々は「沖縄の太陽」と称賛しました。

す。

**答** 伊江島をはじめ沖縄を激励した、純真で愛に満ち溢れた貴い行為に、当時の沖縄の人々は「沖縄の太陽」と称賛しました。

1956年1月に伊江島を訪れた際には、真謝区民に大歓



問  
宿舎の食事問題について長年懸案となつておりますが、名護高校寄宿舎及び伊江村の中学校にフロンティア科の設置も決まりました。他の進学校は中高一貫校に向かっています。そうなりますと、伊江村でも中学校から転校、ひいては小学校からの転校も余儀なくされる可能性があります。人口減少がより現実性を帯びてきます。今後の村の人材育成のためにも寮の食事問題について、村みずから取り組むべきと考えますが、村当局の考え方をお聞きしたい。

事務組合へ改善が図られるよう協議していくかないと答弁しております。その後、北部広域市町村圏事務組合へ土日・祝祭日の食事対応について口頭で要請しておりますが、調理については外部業者に委託しているため、現在の委託料では運営が厳しく、改善は難しいとのことでした。寮の食事問題について、村みずから取り組むべきについては、現在のところ考えておりません。土日・祝祭日に食事を提供することについては、保護者負担を原則とし、結果的には寮費用の値上がりにつながりますので、設置者の北部広域市町村圏事務組合と協議を図りながら慎重に対処してまいります。

# 3. 畜産振興の 農林水産課長／試験結果を 問

伊江村の牛の事故による死亡率が高く、憂慮しているところだと聞いておりますが、その対策として牛温計が大変有効だと思います。ITを併用した管理対策が大変しつかりしていると聞いています。

内容としては前日よりメールで出産予定等の指示がきますので、前日準備が簡単と聞いています。特に夜間の出産時間まで指示す

答 お聞きしたい。牛温計並びに細霧噴霧機等の実証試験や説明会を行つて、あります。現在、家畜監視カメラの試験設置件数が3件、牛温計の試験設置件数が1件の状況であります。これからも監視力メータを含めた今後の対策費の助成がでべきないか、村当局の考えをお聞きしたい。

が、試験結果を踏まえ、導入事業等の検討を行つていきたいと思います。また去る2月26日にJA伊江支店が主体となり、村、和牛改良組合、県並びに関係機関を網羅し、伊江村肉用牛振興協議会が立ち上げされましたので、その中でも疾病や事故予防等、さまざまな課題について協議、検討し、畜産振興を図つていきたいと考えている。

### 3. 畜産振興のための牛温計設置について

## 問 2. 伊江村の伊江島ゆり祭り・伊江島チューパンジャまつりの入場料徴収について

他市町村では祭りの入場料を徴収する市

伊江村行政改革アクションプランにおきまして、伊江島ゆるまつりは森広場を主会場とし、今年2回目の開催を終えたところで、村長／入場料無料で村民に楽しんでいただきたい

り祭りについての意向調査等を実施し、入場料徴収について総合的に可否を判断するとしています。そこで昨年の第19回伊江島ゆり祭り開催期間中に来場者へアンケートによる意識調査を実施し、106名の皆様から回答がありました。その結果は、過半数以上が徴収しないほうがよいとのことでありました。ただし、調査母体が少ないことを踏まえ、今後も調査を継続し、入場料徴収について検討を重ねてまいります。また伊江島チュー  
パンジャまつりは、昨年度から産業まつり、健康まつり、ハビスカスマつりの3まつりを同時開催、会場はこどもの森公園であります。会場内ハイビスカス園では御承知のとおり、現段階では入園料を徴収しませんが、将来的には入園料を徴収する構想であります。そのため今年度特定防衛施設周辺整備調整交付金事業で、ハイビスカス展示棟展示計画策定事業を実施しているところであり、その計画に基づき園の整備を実施していく予定であります。ハイビスカス園の入園料は、その環境整備が整い次第、徴収していきたいと思いますが、チュー・パンジャまつり時は入園料を徴収しないで、多くの皆様にまつりを楽しんでいただければと考えている。

漁等が主要な漁業経営になるが、近年では漁業用燃料や資材の高騰、魚価格の低迷や異常気象等により、効率的な操業に苦慮している状況であるが、村当局は何からかの助成をする案があるのか。

水産業奨励補助として養殖稚魚購入や漁船購入補助なども継続的に助成をしていく予定です。また、助成を受けるところです。

平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業では、漁場の遠方化により、緊急時に適する機器並びに海況情報の提供ができる通信機器（衛星船舶電話）の設置補助を行うとともに、県事業の漁業者の安全操業の確保を支援する事業（無線機設置）補助を継続支援し、漁業者の人命・財産の保全、安全操業の確保を図っております。

県の補助事業としては「水産業機能発揮対策事業」として沿岸海域のサン

状況であるか次の2点についてお伺いします。

①村保育所の保育士定数と現状について。②新年度の待機園児の有無について。

1つ目の村保育所の保育士定数と現状についてですが、職員18名、臨時職員16名、計34名で、現在180名の児童を受け入れています。

2つ目の新年度の待機児童の有無についてですが、現時点で、0歳児15名、1歳児37名、2歳児25名、3歳児48名、4歳児33名で、計158名の入所申しが込みがあり、中央・東両保育所で28名の保育士が必要となります。昨年

童が発生しました。今年も保育士の確保には苦慮いたしましたが、必要な保育士を確保できましたので、待機児童ゼロでスタートができる見通しです。今後は、0歳児の入所申し込みが12名程度予想され、臨時保育士が4名ほど必要となるため、引き続き保育士の確保に努めてまいります。

伊賀中の保育士が1名復帰する予定でございます。また4月に転入予定の有資格者へもコンタクトをとっております。またぜひ保育所で働きたいという村内の方や、村外から村内に4月以降入りますが、ぜひ保育所で働きたいという方も数名おりまして、引き続きホームページでもしつかりと保育士の確保を掲載し伝えていきながら、今後待機児童が出ないよう、担当課としてしっかりと確保について努力していきたい。

# 1. 伊江村の水産業振興について

島袋 兔 謹員



## 2. 村保育所の保育士定数と現状及び 新手法の発見(見出)

# 所の保育士定数と現状及び 新年度の待機児童の有無について

工の保全と有害生物の除去による漁場環境保全活動を行う事業や、「離島漁業再生交付金事業」による種苗放流や浮漁礁の設置による漁場の資源回復とともに支援を行っていく。今後は、伊江漁協と連携

を図り、現行の補助内容の検討を含め、どのような支援が図れるか検討し、村の漁業が安定した経営ができるよう支援していくればと考えております。燃油補助につきましては、今年度平成26年度からの実施し、リッター当たり5

円の助成を行っておりま  
す。それも限度といたしま  
して、全体で年間の使用料  
を勘案しまして、全体で平  
成300万円の助成金を、平  
成27年度予算にも計上し  
て助成していく予定とな  
っております。

議決の結果

## 平成27年第2回定例会

議案番号	件 名	提案者	議決月日	議決結果
報告第1号	平成27年度沖縄県町村土地開発公社事業計画の報告について	村長	3月11日	原案報告
報告第2号	伊江村新型インフルエンザ等対策行動計画の報告について	村長	3月11日	原案報告
報告第3号	ミナト縦線道路整備工事の専決処分の報告について	村長	3月11日	原案報告
同意第1号	教育委員の任命について	村長	3月11日	原案同位
議案第5号	平成27年度伊江村一般会計予算	村長	3月20日	原案可決
議案第6号	平成27年度伊江村診療所特別会計予算	村長	3月20日	原案可決
議案第7号	平成27年度伊江村国民健康保険特別会計予算	村長	3月20日	原案可決
議案第8号	平成27年度伊江村後期高齢者医療特別会計予算	村長	3月20日	原案可決
議案第9号	平成27年度伊江村水道事業会計予算	村長	3月20日	原案可決
議案第10号	平成27年度伊江村船舶運航事業会計予算	村長	3月20日	原案可決
議案第11号	平成26年度伊江村一般会計補正予算(第8号)	村長	3月11日	原案可決
議案第12号	平成26年度伊江村診療所特別会計補正予算(第5号)	村長	3月12日	原案可決
議案第13号	平成26年度伊江村国民健康保険特別会計補正予算(第5号)	村長	3月12日	原案可決
議案第14号	平成26年度伊江村後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	村長	3月12日	原案可決
議案第15号	平成26年度伊江村船舶運航事業会計補正予算(第4号)	村長	3月12日	原案可決
議案第16号	死亡獣畜冷凍輸送コンテナ備品購入の契約変更について	村長	3月11日	原案可決
議案第17号	伊江村村民レク広場の指定管理者の指定について	村長	3月11日	原案可決
議案第18号	伊江村結婚披露宴助成金支給条例	村長	3月11日	原案可決
議案第19号	伊江村特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例	村長	3月11日	原案可決
議案第20号	伊江村家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例	村長	3月11日	原案可決
議案第21号	伊江村放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	村長	3月11日	原案可決
議案第22号	伊江村課設置条例の一部を改正する条例	村長	3月11日	原案可決
議案第23号	伊江村課設置条例の改正に伴う関係条例の整理に関する条例	村長	3月11日	原案可決
議案第24号	伊江村村民レク広場整備基金条例の一部を改正する条例	村長	3月11日	原案可決
議案第25号	伊江村行政手続条例	村長	3月11日	原案可決
議案第26号	伊江村税条例の一部を改正する条例	村長	3月11日	原案可決
議案第27号	伊江村未熟児養育医療受療児の母親の宿泊料助成に関する条例	村長	3月11日	原案可決
議案第28号	伊江村子育て支援金に関する条例の一部を改正する条例	村長	3月11日	原案可決
議案第29号	伊江村救急患者搬送船設置及び管理に関する条例	村長	3月11日	原案可決
議案第30号	伊江村景観計画策定検討委員会条例	村長	3月11日	原案可決
議案第31号	伊江島はにくすいの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	村長	3月11日	原案可決
議案第32号	伊江村城山売店等使用条例の一部を改正する条例	村長	3月11日	原案可決
意見書第1号	「手話言語法(仮称)」制定を求める意見書	議員	3月20日	原案可決
意見書第2号	所得税法の寡婦控除規定の改正を求める意見書	議員	3月20日	原案可決
意見書第3号	F35B戦闘機訓練計画及びLHD模擬デッキ改良強化と関連施設設置工事に断固反対する意見書	議員	3月20日	原案可決
決議第1号	F35B戦闘機訓練計画及びLHD模擬デッキ改良強化と関連施設設置工事に断固反対する抗議決議	議員	3月20日	原案可決

問 去る12月定例会でF35・Bステルス戦闘機の訓練計画に伴い、通称ハリアー・パッドの一部にある強襲揚陸艦（LHD）の模擬甲板の改修強化と関連施設の整備計画があることにつけ、村長に反対すべきではないかと質問をいたしました。村長はマスコミ報道だけではなく、政府にもその計画があるかどうか確認した上で態度を表明したいと述べました。12月定例会以後、どのような情報が収集できたのでしょうか、伺います。

答 去る12月定例会において、「海兵隊航空計画」については、国においても米政府から説明を受けたおらず、F35ステルス戦闘機の訓練に伴う伊江島補助飛

行場のLHDデッキ等の改修計画の内容を承知しないとのことでありますので、早急に沖縄防衛局に事実関係の確認を行い対応すると申し上げております。去る12月24日に井上沖縄防衛局長との面談時に具体的かつ速やかな情報提供を要請しておりますが、いまだに米国側から国に対しF35スティルス戦闘機の訓練及び伊江島補助飛行場の改修計画について通報されていないとの連絡を受けております。いずれにしましても、国に対して再度情報提供を求めるとともに、新たな基地負担につながることのないよう、今後の動向を注視しながら対処していきたいと考えております。

の老人ホームいえしまどし  
は特別養護老人ホームの増床の  
計画はなく、ショートステイの  
増床で村民のニーズに応えてい  
きたい計画とのことであります。  
ところが平成27年度から介  
護報酬が引き下げられるため約  
1500万円の減収になる見込  
みであり、経営の維持がさらに  
厳しくなるとのことであります。  
厳しい経営状態の中でも村  
民のニーズに応えるために10床  
のショートステイ施設の増築を  
計画しておりますが、増築費用  
は約1億円かかる予想であり、  
村からの財政支援を強く望んで  
います。村民のニーズに応える  
ため行政としても支援すべきだ  
と思いますが、村長はどのよう  
に考えておられるでしょうか、  
伺います。

②施設利用者の送迎のためのリ  
フト付ワゴン車(10人乗り)は、

答 (1) ショートステイ施設の増築への財政支援については、本村は沖縄県介護保険広域連合を構成する団体ですので、ショートステイ施設を増築する場合、広域連合が策定する介護保険事業計画にショートステイ増床の計画を盛り込み、見込みの介護サービス費を算定した上で、介護保険料を決定する必要があります。

したがいまして、介護保険事業計画に盛り込まなければ介護保険の適用が受けられません。また平成23年度において整備された認知症対応のグループホームも同様の手続をとり整備に至っております。それゆえに第6期介護保険事業計画中の平成29年度までは増築は不可能でございます。またショートステイ

うち 1000万円の補助をしておられます。しかしながら、送迎のためのリフト付ワゴン車について、村単独事業での支援は厳しい状況であることから、補助事業での導入ができないか調査し、第7期の沖縄県の介護広域の介護保険事業計画の中で認められるようになれば、村として支援はしていきたいと思つております。またリフト車につきましても村の事業で購入をして、老人ホームに対応をしていく方法があるのかどうなのかも含めて、今後そういうことを検討させていただきたいと思います。

# 1 F35・B型ステルス戦闘機の訓練場の強化計画について

# 1 F35・B型ステルス戦闘機の訓練場の強化計画について



名嘉實議員

## **2 介護老人福祉施設「老人ホームいえしま」への財政支援について**

## 所得税法の寡婦控除規定の改正を求める意見書

寡婦控除は、配偶者の死別や離婚のち子どもを養育しているなどのひとり親世帯に対し、所得税及び住民税の算出において一定の所得控除が受けられる税制優遇制度であるが、婚姻歴のない非婚のひとり親世帯には適用されていない。

非婚の母子世帯は、寡婦控除が適用される同じ収入の母子世帯と比較して、所得税、住民税が高くなるだけでなく、保育料、公営住宅家賃、就学援助、年金免除規定などで大きな負担を強いられており、その負担差は、年収約200万円の世帯で20万円から30万円にも上る。

近年、パートナーからの暴力や経済的問題など様々な理由から、非婚で子どもを産み育てている母子世帯が増えている。平成23年度厚生労働省「全国母子世帯等調査」によれば、離婚80.8%、非婚7.8%、死別7.5%と、非婚は死別を上回っており、年々増加している。

また、日本の母子世帯の就業率は80%を超えていても関わらず貧困率は54.6%と悪化の一途をたどっている。年間就労収入は、母子世帯全体で平均181万円であるのに対し、非婚は160万円と極めて低い上に、重い税負担等を課せられている。

このようなことから、非婚のひとり親世帯に対して、独自に寡婦控除を「みなし適用」する自治体も増えてきているが、保育料や公営住宅家賃などの一部サービスにとどまっており、法改正による根本的な解決が求められているところである。

一昨年、国は年々悪化する子どもの貧困対策として、「子どもの貧困対策の推進に関する法律」を成立させた。この法律の目的には、「子どもの将来がその生まれ育った環境によって左右されることのないよう、貧困の状況にある子どもが健やかに育成される環境を整備する」とある。

それに則れば、どのような環境下にあるかに関わらず、すべての子どもの育ちが保障されるよう法整備を進めることは国の責務である。

よって本村議会は、憲法が謳う法の下の平等に照らし、著しい格差を是正するためにも、早急に所得税法を改正し、暮らし向きが極めて厳しい非婚のひとり親世帯にも寡婦控除を適用するよう、強く求めるものである。

以上、地方自治法99条の規定により、意見書を提出する。

平成27年3月20日  
沖縄県国頭郡伊江村議会

### 宛先

衆議院議長 町村 信孝 殿	総務大臣 高市 早苗 殿	沖縄及び北方対策担当大臣 山口 俊一 殿
参議院議長 山崎 正昭 殿	財務大臣 麻生 太郎 殿	
内閣総理大臣 安倍 晋三 殿	厚生労働大臣 塩崎 恭久 殿	

## 「手話言語法(仮称)」制定を求める意見書

手話とは、日本語を音声ではなく手や指、体などの動きや顔の表情を使う独自の語彙や文法体系をもつ言語である。手話を使うろう者にとって、聞こえる人たちの音声言語と同様に、大切な情報獲得とコミュニケーションの手段として大切に守られてきた。

しかしながら、ろう学校では手話は禁止され、社会では手話を使うことで差別されてきた長い歴史があった。

2006(平成18)年12月に採択された国連の障害者権利条約には、「手話は言語」であることが明記されている。

障害者権利条約の批准に向けて日本政府は国内法の整備を進め、2011(平成23)年8月に成立した「改正障害者基本法」では「全て障害者は、可能な限り、言語(手話を含む。)その他の意思疎通のための手段についての選択の機会が確保される」と定められた。

また、同法第22条では国・地方公共団体に対して情報保障施策を義務づけており、手話が音声言語と対等な言語であることを広く国民に広め、きこえない子どもが手話を身につけ、手話で学べ、自由に手話が使え、更には手話を言語として普及、研究することのできる環境整備に向けた法整備を国として実現することが必要であると考える。

よって本村議会は、政府と国会が下記事項を講ずるよう強く求めるものである。

### 記

手話が音声言語と対等な言語であることを広く国民に広め、きこえない子どもが手話を身につけ、手話で学べ、自由に手話が使え、更には手話を言語として普及、研究することのできる環境整備を目的とした「手話言語法(仮称)」を制定すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成27年3月20日  
沖縄県国頭郡伊江村議会

### 宛先

衆議院議長 町村 信孝 殿	内閣総理大臣 安倍 晋三 殿	文部科学大臣 下村 博文 殿
参議院議長 山崎 正昭 殿	総務大臣 高市 早苗 殿	厚生労働大臣 塩崎 恭久 殿

# 議会の活動

平成27年3月

- 3日: 北部市町村議会議長会  
第4回定期総会(議長)
- 3日: 平成27年度北部広域市町村圏事務組合議会  
第45回定例会(議長)
- 4日: 議会運営委員会、全員協議会
- 11日: 第2回伊江村議会定例会(20日まで)
- 13日: 伊江中学校卒業式(全議)
- 24日: 2小学校卒業式(全議)
- 30日: 第3回伊江村議会臨時会
- 31日: 伊江村役場退職者辞令交付式(議長)

平成27年4月

- 1日: 人事異動に伴う辞令交付式(議長)
- 4日: 平成27年度名桜大学入学式(議長)
- 8日: 2小学校入学式(全議)
- 10日: 伊江村地域WIMAX開局式典(議長)
- 10日: さとうきび製糖終了報告会(議長)
- 11日: 第23回伊江島一周マラソン大会(全議)
- 13日: 「交通事故ゼロ4年連続達成」祝賀会(副議長)
- 15日: 新任教職員歓迎会(全議)
- 18日: 第20回伊江島ゆり祭りオープニング(全議)
- 19日: アニーパイルセレモニー式典(議長)
- 21日: 芳魂之塔平和祈願祭(全議)
- 22日: イージマ郷友会新高校生激励会(議長)
- 23日: 救急患者搬送船『未来』運航祝賀会(全議)  
伊江村婦人会定期総会(議長)
- 27日: 伊江村老人クラブ連合会総会(全議)
- 28日: 在沖米軍によるパラシュート物資投下訓練  
事故に関する要請行動(議長)  
第70回伊江村青年会総会(副議長)
- 30日: 沖縄振興拡大会議(議長)



▲芳魂之塔平和祈願祭



▲イージマ郷友会新高校生激励会

平成27年5月

- 8日: 子牛畜産共進会(全議)
- 15日: 北部市町村議長会定期総会(議長)  
TPPから国を守る沖縄県民集会(副議長)
- 19日: 伊江村人材育成会理事会及び総会(全議)  
離島六村運営協議会懇親会(全議)
- 20日: 伊江村商工会通常総会(議長)
- 21日: 第4回伊江村議会臨時会
- 22日: 沖縄県技術士会伊江島研修会(議長)
- 23日: 第66回沖縄県植樹祭(議長)
- 25日: 町村議会議長・副議長研修会(28日まで)  
(議長・副議長) 東京
- 28日: 平成27年度伊江村学力向上推進大会(全議)



▲子牛畜産共進会

## F35B戦闘機訓練計画及びLHD模擬デッキ改良強化と 関連施設設置工事に断固反対する意見書

米海兵隊は2017年に岩国基地に配備予定の最新鋭ステルス戦闘機F35Bの離着陸訓練を、伊江島補助飛行場で行うことを計画しているとの新聞報道がある。海兵隊が昨年11月に発表した「海兵隊航空計画2015」の中で、「LHD」模擬デッキ改良強化工事を今月に着工、来年の9月の完成を予定している。海兵隊の計画によると、伊江島補助飛行場の改良工事はF35Bに加え、垂直離着陸輸送機MV22オスプレイによるホバリングや離着陸訓練に対応するために行う、特殊なコンクリートによる着陸帯の舗装、管制塔の建設などを計画している。工事の理由については、F35Bやオスプレイの運用に起因する「低空飛行ジェット機の爆風や気流の渦による土地の浸食、(FOD) 異物吸引による航空機の破損などのダメージを防ぐため」としている。

本村においては、昨年だけでも在沖米軍による訓練事故が5件発生しており、その何れの事故も一歩間違えば大惨事となる可能性もあった。

伊江村議会は、これまで在沖米軍による事件・事故に対し厳重に抗議し、原因究明と再発防止を再三再四強く要請してきたにもかかわらず、今なお村民、特に基地周辺住民は基地から派生する事件・事故等で大きな被害を被っている現状にある。

本村においてのステルス戦闘機F35Bの訓練のためのLHD模擬デッキ改良強化を含むその他の施設設置工事は、村民にとって到底受け入れられないものであり強い憤りを感じるものである。以上の事から、本村議会は村民の生命、財産、安全及び平穏な生活を守る立場から、米軍及び関係当局に対し施設強化計画に断固反対し抗議するものである。

記

1. F35B戦闘機の伊江島補助飛行場での訓練計画を即時中止すること。
2. 伊江島補助飛行場内のLHD模擬デッキ改良強化工事計画を即時中止すること。
3. 基地の負担軽減を実施し、これ以上の機能強化をやめること。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

平成27年3月20日

沖縄県国頭郡伊江村議会

宛 先  
内閣総理大臣 外務大臣 防衛大臣 沖縄及び北方対策担当大臣  
外務省特命全権大使(沖縄担当) 沖縄防衛局長

### ●その他抗議決議

F35B戦闘機訓練計画及びLHD模擬デッキ改良強化と関連施設設置工事に断固反対する抗議決議

### 【誤字のお詫びと訂正】

前号、NO148号の15ページ下段に誤字が2か所あり、読者の皆さんにお詫び申し上げ訂正いたします。  
●誤・(則)→正・(即) ●誤・(強力)→正・(協力)